

平成20年度 情報教育研修会

# 「共に創ろう！」これからの情報教育

- 子どもたちの「生きる力」を育てるために -

主催 松山市小学校情報教育研究委員会  
共催 デジタル表現研究会 (D-project2)

期 日

2008年 8月4日(月) 【9:00~16:30(8:30受付)】

会 場

全体会：愛媛大学工学部 19号室  
分科会：愛媛大学工学部 18号室  
松山市立東雲小学校多目的ホール

## スケジュール

8:30 9:00 9:15 10:15 10:30 11:30 12:00 13:00 16:30

8月4日(月)	受付	開会行事	実践事例発表	休憩	基調講演	企業展示	分科会A	昼食	分科会B	閉会行事(分科会ごと)
			「情報モラル模擬授業」 「学校放送番組の活用」 ~『読み書きのツボ』の活用を通して~ 「授業におけるICTの効果的な活用」 ~拡大提示型授業の推進~		「情報教育と新学習指導要領」 独立行政法人 メディア教育開発センター 教授 中川 一史		スライドショーワークショップ (共催 デジタル表現研究会) ワークショップ中に昼食の時間をとります。 時間 12:00~16:30		どうする?携帯電話指導ワークショップ (協力 NTTドコモ四国) 時間 13:00~16:30	

### 実践事例発表内容

「情報モラル模擬授業」  
(松山市立雄郡小学校 教諭 山岡 健二)

「学校放送番組の活用」  
~『読み書きのツボ』の活用を通して~  
(松山市立さくら小学校 教諭 松本 幸一)

「授業におけるICTの効果的な活用」  
~拡大提示型授業の推進~  
(土佐市教育研究所 山崎 康祐)  
(高知県教育センター 市原 俊和)

コメンテーター  
愛媛大学 准教授 都築 伸二  
松山市教育委員会 地域学習振興課 立石 康

### 分科会内容

**A : D-project ワークショップ**  
「授業を想定した受講者参加型」のワークショップを通し、論理的な思考力と豊かな感性を育てるための授業デザインを考えていきます。さらに中川先生が提唱している「メディア創造力」の理論・学習プロセスなどを学んでいきます。  
コーディネーター：横浜市高田小学校主幹教諭 佐藤 幸江  
コメンテーター：中川 一史先生

**B : どうする?携帯電話指導ワークショップ**  
情報モラルの必要性が叫ばれる今日、学校ではどのような指導を展開すればよいのか、NTTドコモ四国の「ケータイ安全教室」を受け、ワークショップを行いながら、携帯電話に関する子どもたちの諸問題への対応や指導の在り方について考えていきます。

対 象

小・中学校教職員 教育関係者 120名

## 講師及び団体紹介

### 中川 一史先生

独立行政法人メディア開発センター教授、地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業デジタル放送教育活用促進協議会企画委員広報部会委員(文部科学省)、理科教材開発・活用支援事業推進委員会普及・促進分科会主査(科学技術振興機構)、D-project2(デジタル表現研究会)会長など、日本の情報教育の第一人者として活躍されています。中川先生の活躍を、様々な研究会や研究紙等で見聞きしている方は多いと思います。小学校教諭・教育委員会指導主事の経験もあり、現場の教員の立場をより理解し、最先端の情報教育の理論や指導方法を、子どもたちの授業に活かされるよう、具体的な事例をもとに分かりやすく話していただきます。平成17～19年度に渡って本研修会で講演をしていただきました。

昨年度から、松山市小学校情報教育研究委員会授業支援外部顧問として、松山市の情報教育の推進を支援して下さっています。

中川先生ホームページ 「<http://www.hitorin.com/>」

### 都築 伸二先生

愛媛大学大学院理工学研究科通信システム工学講座准教授として、新しい通信技術の研究・開発を行っています。最近の研究としては、様々な家電機器をすべてネットワークで接続するための通信方式の研究開発・電力線通信技術を行っています。PLC(高速電力線通信)アダプターなどが、その技術を使っています。また、超高速ネットワークを前提とした、DVデータ(デジタルハンディカメラの動画データ)のリアルタイム伝送装置の開発に取り組んでいます。平成19年度には本研修会で講演いただき、平成18年度には、中核市(情報教育)管理職研修の講師として、愛媛・松山のネットワーク環境の現状と展望について、管理職の先生方に分かりやすく話していただきました。

昨年度から、松山市小学校情報教育研究委員会、インフラ等整備外部顧問として、松山市のICT環境の整備を支援して下さっています。

都築先生ホームページ 「<http://miyabi.ee.hime-u.ac.jp/~tsuzuki/self/index.html#pt1>」

### D-project2 (デジタル表現研究会)

D-project(デジタル表現研究会)は、「デジタル(Digital)」「デザイン(Design)」の2つの『D』をキーワードに、ITにふりまわされることなく、子どもの学びをみずから授業をデザインしていこうとする姿を提案したいという願いから発足した。「豊かな学力」と「メディア表現」を結びつける「メディア創造力」というキーワードを柱に研究活動を全国で行っている。「メディア創造力」の育成という新たな視点で授業作りを考え、「基本基礎」の徹底に結びつく実践を提供しながら、日本の学校教育界に根強い「キチンと文化」に問題提起していきたいと考え活動を行っている。

D-project2 ホームページ 「<http://www.d-project.jp/2007/index.html>」

### 佐藤 幸江先生

D-project2の副会長として、表現学習を通して、自分なりの発想や創造性、柔軟な思考を働かせながら自己を見つめ、切り拓いていく力「メディア創造力」を子どもたちに育成するために、様々なプロジェクトを立ち上げ、教育実践を行うなどして活躍しています。そのプロジェクトの一つ、「学校連画：絵のリレー」では、インターネットとデジタル表現のよさを融合したダイナミックで協調的な造形活動を推進し、図工とコンピュータとの新しい教育の形を提唱されました。また、国語科でのICT活用を実践も積み重ね、授業における効果的なICT活用方法を数多く考案されています。その実践の中でも、光村図書出版、「国語デジタル教科書」を活用した実践は、様々な教育書で目にされている方も多いと思います。

### NTTドコモ四国 ケータイ安全教室ホームページ

「[http://www.docomo-shikoku.co.jp/corporate/csr/safety\\_school/index.asp](http://www.docomo-shikoku.co.jp/corporate/csr/safety_school/index.asp)」

## 申し込み方法

### 送り先

松山市小学校情報教育研究委員会

事務局 石田年保

[ishida-toshi@esnet.ed.jp](mailto:ishida-toshi@esnet.ed.jp)

締め切り日 7月11日(金)

### 所属校

氏名

希望分科会

以上3点をメールにてお知らせください。

## 会場周辺地図



## 備考

会場は駐車台数に限りがありますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。なお、会場に駐車できない場合は、松山市立東雲小学校に駐車をお願いするようになります。